

第8回トラック輸送における取引環境・労働時間改善長崎県地方協議会 議事概要

1. 日時

平成30年3月7日（水） 14時00分～16時00分

2. 場所

長崎県トラック協会 研修会館

3. 出席者

委員氏名	組織名 役職
宮原 和明	長崎総合科学大学 名誉教授
小野 秀昭	流通経済大学 物流科学研究所 教授
松永 安市	長崎県商工会議所連合会 専務理事
山口 裕志	全日本運輸産業労働組合連合会 長崎県連合会 執行委員長
中村 靖彦	長崎県農業協同組合中央会 総務部 次長（代理出席）
浜元 浩一	長崎県漁業協同組合連合会 漁港製氷工場長（代理出席）
牛島 徳人	日本ハム（株）諫早プラント 総務課長（代理出席）
川見 義昭	株式会社エレナ 総務部長
後藤 文雄	日本通運（株）長崎支店 支店長
辰巳 太郎	長崎運送（株） 代表取締役
井石 八千代	（株）井石 代表取締役
佐藤 正文	長崎雲仙運輸（有） 代表取締役
馬場 邦彦	幸運トラック（株） 代表取締役
西辻 松好	（株）ミラージュ 代表取締役
塚本 政治	公益社団法人長崎県トラック協会 会長
熊谷 一彦	長崎労働局 労働基準部長（代理出席）
家邊 健吾	九州運輸局 自動車交通部長（代理出席）
田上 一実	九州運輸局長崎運輸支局 次長
田宮 一昭	（株）運輸・物流研究室 客員コンサルタント（オブザーバー）
田上 照之	九州農政局 食品企業課流通・企業係長（オブザーバー）
荒木 誠	長崎県農林技術開発センター 副所長兼研究企画部門長

なお、安部委員（三菱重工業（株）長崎造船所）、江口委員（県中小企業団体中央会）、松本委員（長崎県）、藤岡委員（ヤマト運輸（株）長崎主管支店）は、所要のため欠席。

4. 議題

- (1) トラック輸送における取引条件・労働条件改善に向けた取組について
- (2) 平成29年度パイロット事業について
- (3) 平成30年度のコンサルティング事業について
- (4) 農林水産省の取組
- (5) その他（ワンウェイパレットの説明）

5. 資料

議事次第、委員名簿、出席者名簿、配席図

資料1 トラック輸送における取引条件・労働条件改善に向けた取組について

資料2 平成28年度のパイロット事業の成果（プレガイドライン）

資料3 平成29年度パイロット事業実施報告書

資料4 平成30年度コンサルティング事業について

資料5 農林水産省の取組 ～農産品物流に関する政策～

資料6 青果物輸送用ワンウェイパレットの研究開発

6. 議事概要

➤ 議題1の説明（事務局：九州運輸局）

資料1・資料2により説明

➤ 議題1に関する意見・質問

（小野委員）

昨年から「働き方改革」にどう対応していくかということに変わってきた。振り返れば荷主都合による待機時間の記録、運送約款の改正など、矢継ぎ早に改定されてきている。2割労働時間が長く、2割運賃が安いというこの業界で、このまま放置すれば、社会的使命が果たせなくなる。国の、制度政策のフォローがあるので、それぞれ運送事業者、荷主、荷主事業者団体等、今やっておかないと運べなくなるということがでてくるので、ここ数年の内に取り組まなければならない。

運賃料金の手続きは、長崎では高率で手続きされており、早く根付く可能性がある。これまで付帯作業を適正に収受できていないが、このままではいくら効率化しても運賃には反映しないということ。料金体系を変えていけば、必要なところで必要なコスト計算をして、運賃料金が形成される。例えば、待時間に料金がかかることを示せば、荷主も待時間を減らすようになる。荷主の運賃料金のインセンティブにもなるので、是非取り組んで欲しい。

全国の12月のトラックドライバーの有効求人倍率は、2.8倍超。ドライバー不足により仕事を断らなければならない。効率化と併せ、運賃体系を見直す時期が来ている。来年度予算も、各種施策があるので、これを活用しながら改善していただくことを望んでいます。

➤ 議題2の説明（オブザーバー：運輸・物流研究室 田宮）

資料3により説明

➤ 議題2に関する意見・質問

（馬場委員）荷主が協力的であった。選果場の機械化も進んでいる。市場もパレット輸送や効率化を進める中、将来的にパレット化は必要。手が込み過ぎている感もあるが、労働時間制限の中では労働者の負担軽減を検証しておく必要がある。県央だけでなく、島原半島、県全体でまとめて配送するなど必要と感じている。

（家邊委員）パレットの積替え時間は評価していないとのことだが、必要となる時間の記録はしておいた方がよい。今回の実証が積替え有りでも効果があるのか、今後の展開のためにも記載した方がよいのでは。

（小野委員）その部分は大切に、概要版には記載ないが、報告書には記載。積込み時は1人でないところがポイントで、積込担当の補助員を派遣しているが別建て運賃料金になっていないのでそれを加味しなければならない。実現のためには、実証におけるコストと現状のコストを比較したうえで、現在の契約運賃料金と比較することで次へ向かうと考えます。

（西辻委員）農林技術開発センターの方もお見えですが、先日新聞に発泡スチロール製パレットの掲載があった。これを使うとパレット回収の問題が無くなり、パレット化が一気に進むのではないかと。先ほど宮崎が夕方集荷できるようになったとの事ですが、フェリー利用のためには有効だが、そうするためのプロセスを教えてください。また、第7回の会議時にパレット部会での規格の統一化について、次回報告との事でしたが、どうなっているでしょうか。

（家邊委員）宮崎の件は、宮崎に確認して、次回以降ご報告できるようにさせていただきます。

（九州農政局 田上オブ）パレット部会を行っているところですが、3月とりまとめまで、情報非公開であります。

（事務局）ワンウェイパレットの件は、本日長崎県農林技術開発センターにオブザーバー出席をいただいておりますので、ご説明いただきますので、ご質問などございましたらお願いいたします。

➤ 議題3の説明（事務局：九州運輸局）

資料4により説明

➤ 議題3に関する意見・質問

なし

➤ 議題4の説明（九州農政局 田上オブザーバー）

資料5により説明

➤ 議題4に関する質問・意見

なし

- 議題5の説明（長崎県農林技術開発センター 荒木副所長 オブザーバー）

資料6により説明

- 議題5に関する質問・意見

なし

- その他

（馬場委員）今回のパレット輸送をするときに、幸運トラックの荷台幅が2,350 mm、今回は農協パレットが1,200 mm、幸運のパレットが1,100 mmを積み合わせて15パレットで運行したが、荷を7段から8段積む時に横転事故が心配。バラ積みが安心との安全の輸送の部分と、新型のトラックはエンジン重量が上がって積載量が落ちている事と併せ、パレット重量と梱包材重量とで積載が落ちることから、車の作り方、パレット輸送のやり方含め考えていきたいと実証において感じたところ。運輸局への要望ですが、トラックの長さ・幅をもう少し緩和していただくと、やりやすくなる。

（宮原座長）ほかに質問などが無いようなので、以上で本日の協議会は終了する。

（了）